

仙台市国家戦略特別区域会議（第1回）終了後記者会見

日 時：平成27年9月7日（月）8：30～8：45

場 所：メトロポリタン仙台 会場「藤西」

（平副大臣冒頭発言）

お疲れさまでございます。

本日、第1回「仙台市国家戦略特別区域会議」が開催され、先ほど終了しました。地方創生特区の第一弾の指定後、仙台市におきましては迅速に区域会議を立ち上げていただきました。市長、本当にありがとうございました。

今回は、NPO法人の設立認証の際の縦覧手続を2カ月から2週間に短縮し、法人の設立を促進するという、さらには保育士不足解消に向けて、市内全域において地域限定保育士の資格を創設することを中心に議論いたしました。これらについて議論が整いましたので、区域会議として決定し、速やかに内閣総理大臣による認定に向けて手続を進めていきたいと考えております。仙台市発のソーシャル・イノベーションの取り組みがさらに具体的に進展し、全国のモデルになるよう期待をしているところでございます。

今後とも、仙台市をはじめ、各特区の区域会議を高い頻度で開催し、具体的な事業が見える形にしていきたいと思います。

私からは以上でございます。

（奥山仙台市長冒頭発言）

ただいま副大臣からお話がありまして、本日、区域会議を開催していただきました。国会開会中にもかかわらず、このように迅速に区域会議を開催し、そしてまた、ただいまお話しのように決定していただきましたことは、本市としても大変うれしく思っているところでございます。

本日の案件2件、NPO法人を、さらに復興の中心である当地域において迅速にその力を発揮していただけるように、その設立に向けて早期可能になるように取り組むということ、そしてまた、これもまた復興後、大変重要な課題であります待機児童の解消に向けた人材の確保、これに向けて保育士試験を政令指定都市であります本市においても特区として実施できるように定めていただいたこと、この2点はいずれも復興を目指します本市にとって大変重要な案件だと考えてございますので、我々も力を入れて、さらにこの特区としての活用を図ってまいりたいと考えております。

どうも今日はありがとうございました。

(質疑応答)

(問) 河北新報の関川と申します。

市長にお伺いしますが、地域限定保育士の試験で新たに保育士を仙台市として増やせるようになると思うのですけれども、目標の人数などがありましたら、教えてください。

(奥山市長) 地域限定で、これは宮城県が第2回目をやらないとした場合ということになりますけれども、来年度以降ということになります。今まで第1回目としてやっている宮城県の受験者が1,000人弱と伺っていますので、恐らくは第2回目ですからそれを若干下回るような形になるかと数的には思っておりますが、その辺を目安に、県の状況なども見ながら、私どもとしても対策を立てていきたいと思っています。

(問) 日本経済新聞の村松です。

副大臣にお尋ねします。手続的なものなのですけれども、今日をもって会議が決まりまして、今後、総理の決定なり、具体的に今日決まったことが実現するのはどういうタイミングと考えればいいのでしょうか。

(平副大臣) まず、今日、区域計画が区域会議で決定をしたと、この後、国家戦略特区諮問会議というものを近いうちに開催し、そこで承認されましたら、内閣総理大臣の認定という手続になってまいります。できるだけ迅速にやってまいりたいと思っています。

(問) 今のところ、いつごろという目安が別にあるわけではないのですか。

(平副大臣) 区域会議が、今日、これからまた秋田であります。それが終わった後にできるだけ早くと思っておりますので、それほど先ではなくセットができると思います。

(問) 東北放送の多田と申します。

市長にお伺いします。今回は2件ということですが、今後、例えば軽自動車の社会実験とかがあったと思いますけれども、あと何事業ぐらい認定が。

(奥山市長) 今後の我々が検討しているのは、お話しのように何件かありますけれども、いつ何件というような次の具体の計画については調整未了でありますので、現時点では、まだお話しできる段階ではないということです。

(問) 日経さんの質問の確認なのですけれども、いただいた資料2で、NPOの期間短縮は平成27年9月よりで、保育士の話は平成28年度よりとなっていましたけれども、こ

ういうスケジュール感でいいのですか。

(平副大臣) 結構です。

(以上)